

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	かせやまの森創造社
活動タイトル	かせやまの森の創造プロジェクト
活動地域	京都府木津川市鹿背山



4月2日生きもの探検隊（動植物調査）

【活動の目的・目標】

陸化しササで覆われていた棚田跡の中に安定した水面が維持でき、両生類や水生昆虫が戻ってきて、埋土種子がよみがえることを実証する。生きものリストを作る。公募した市民が維持管理の楽しさを知り、棚田跡の再生活動が広がる。将来的には、棚田跡の再生が広がり捕食される生き物が増え、谷全体の生物多様性を支えることを期待する。また、奥地に生息するヤマトサンショウウオ（絶滅危惧種）の生息地を広げる。



5月27日生きものの池づくり（水路掘り）

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

子どもたちも交えて、割石を運んで生きものの池の護岸を作ったが、イノシシがやってきてヌタ場となって、護岸の石が壊された。その後イノシシ除けの竹柵を作って池を囲み再び石を積みなおした。京都大学フィールド科学教育センターのメンバーを案内して、意見交換や研究への協力を行った。



6月11日生きものの池づくり（石護岸作り）

【活動の内容・成果】

開催回数：森学校 9回

参加人数：森学校 227人

達成率：生きものの池 60%

1. 鹿背山の森学校
（場所はかせやまの森、※はキチキチカフェ）
 - 4月2日 生きもの探検隊（12人）
 - 4月16日 タケノコ掘り（40人）
 - 4月23日 タケノコ掘り（42人）
 - 4月30日 タケノコ掘り（42人）
 - 5月7日 紙漉き教室（16人）※
 - 5月27日 生きものの池づくり（3人）
 - 6月11日 生きものの池づくり（17人）
 - 7月30日 生きものの池づくり（18人）
 - 8月27日 夜の森探検

2. スタッフによる整備作業
 - 4月～ ビニールハウス改修で作業場整備
 - 5月～ 小学校に里山の資材で遊び場づくり
6年生約100人が参加
 - 9月～ イノシシの被害から池の修復

【団体概要】

2014年、生物多様性基本法に基づき、保全活動計画が策定され、活動連携組織ができましたが、広大な面積の一部しか手が付けられず、奥地では森林の荒廃や道・川の崩壊が進んでいます。2019年、活動団体の有志が里山全体のマネジメントを目指した「かせやまの森創造社」を立ち上げました。除間伐・道づくりや市民が里山に親しむイベントを行っています。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



子どもたちと割石を運んで池の護岸を作った。
(6月11日)



イノシシが壊した池の修復。竹柵で囲んで割石を積みなおした。(9月30日)



ヤマトサンショウウオの卵嚢を試験的に「生きものの池」に移植して孵化させた。(5月27日)
※この件および写真は非公開です。



城山台小学校の法面に里山の木や竹で遊び場をつくる。総合学習の授業で。(9月7日)